

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果から

令和4年9月
敦賀市立敦賀南小学校

4月に実施された「全国学力・学習状況調査」。今年度は、国語・算数・理科の調査が行われ、その結果から、頑張っている敦賀南小学校の子どもたちの特徴が次のように見えてきました。



学力調査から見た南の子の ◎強み・△弱み

- ・全体として記述式の設問に対する正答率が高く、大事なことを落とさず書く力がついてきている。
- ・国語と理科では、正答率が県・全国平均を上回る、または同等の設問が多く良好！

【国語】

「読むこと（物語）」

◎叙述をもとに、登場人物の相互関係、物語の全体像、表現の効果を考えること

「書くこと」

△文章全体の構成や書き表し方に着目して、文章を整えること
☆自分の考えが明確に伝わるよう、自分の考えを最初に書いていることを捉えられませんでした。どうすれば相手に自分の考えを「明確に」「分かりやすく」「説得力をもって」伝えられるのかを意識した活動を取り入れていきます。

言語に関して

◎漢字を正しく使うこと △話し言葉と書き言葉の違い



（中略）この物語を読むと、私は前向きな気持ちになります。なぜかというところ、老人に出会ったばかりを通して、この物語が私に伝えてくれることがあるからです。それは

人物像や物語の全体像を具体的に想像し、
伝わってくることを考えて書く。

【算数】

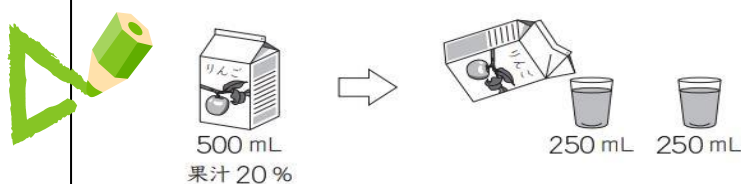
データの活用

◎目的に応じて円グラフを選び、必要な情報を読み取ること

割合を使った問題

◎比例の関係を使って、果汁30%の飲み物の全量量の求め方を説明すること
△数量が変わっても割合は変わらないこと

(3) リンゴの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mLあります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mLになります。



飲み物の量が1/2になると
果汁の割合は？

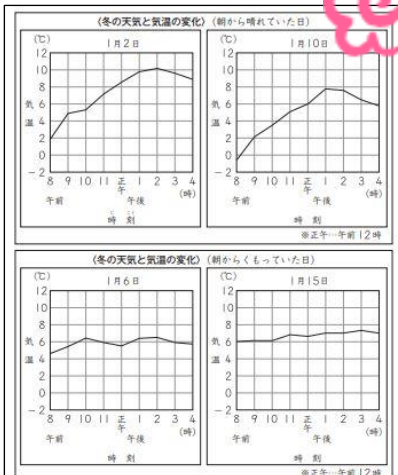
- ① 1/2 ② 2倍 ③ 変わらない

何杯に分けても果汁の
割合が変わらないのは
当たり前なのに…

☆計算で割合を求めることはできますが、その結果と生活場面を関連付けて考えることができいません。教室で終わるのではなく、生活と結びつけて理解を深めるよう、今後も努めていきます。



【理科】



天気による気温の変化の仕方についてどのようなことが言えるか？

観察の結果から

- ◎観察の結果から、問題に対するまとめを考えること
自分の結果と追加情報をもとに考えを検討・改善すること
- ◎予想が確かめられた場合に得られる結果を見通すこと

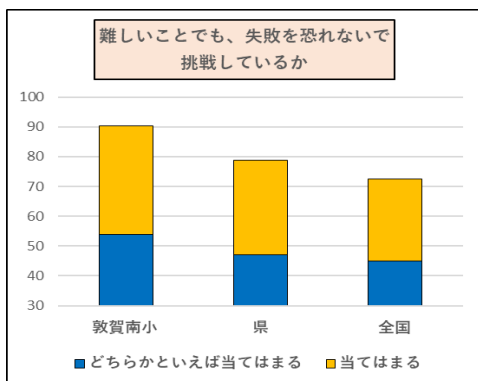
実験結果の分析

△問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果をもとにして書くこと

- ☆説明の中で、具体的な数値が抜けている誤答が多く見られました。実験した結果（事実）と、そこから言えることが明確に意識されていないためと考えられます。具体的な数値などをあげて説明する活動を増やしていきます。

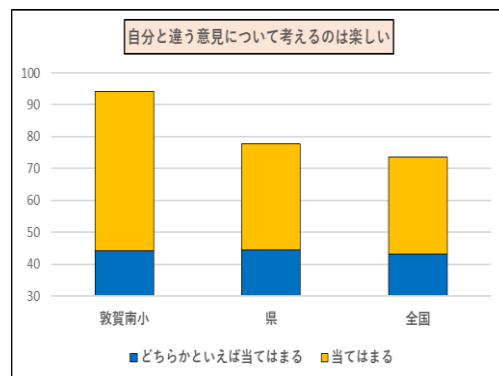
【児童質問紙から見える南の子】

前向きに頑張る南の子



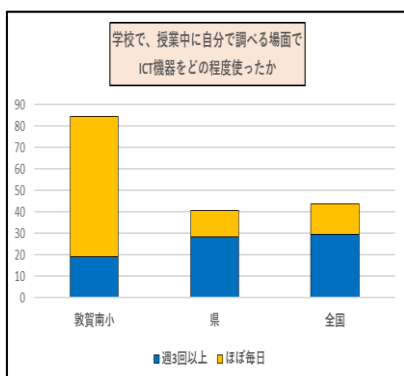
「自分にはよいところがある」「よさを認められている」「やると決めたことは、やり遂げるようにしている」児童が多く、前向きに頑張ろうとしていることがわかります。そんな南の子の力をさらに伸ばしていきます。

みんなで考える楽しさ



学習だけでなく、学級会などでの話し合い活動を通し、自分の考えを深めたり広げたりすることに楽しさを感じています。いろいろな場面でそのよさを発揮できそうですね。

タブレット等の ICT 機器を活用しています



「ICT 機器は、勉強の役に立つ」と回答する児童は100%。調べ学習だけでなく、意見交流・考えをまとめ発表する場面でも活用しています。さらに充実できるようこれからも取り組んでいきます。

インターネットは私たちの生活になくてはならないものであり、便利である反面、様々な**危険性**も指摘されています。今回の調査では、スマホやPCの使い方について家の人との**約束を守れていない**児童、県・全国より割合は低いものの、平日に**長時間動画視聴やゲームをする**児童もいました。子どもたちが今後もよりよくインターネットを利用していきけるよう、家庭・学校ともに協力していきましょう。